



安いで快適に暮らせる生活基盤の早期実現に向け協力

町がUR都市機構および県と災害公営住宅の整備に関する協定を締結



【写真上】仮設庁舎で行われた調印式の様子 【写真下】協定に調印した県の清水局長(左)とUR都市機構の西周支社長(右)

町は10月5日、町民が安心して快適に暮らせる生活基盤となる恒久的な住まいの早期実現のため、県および独立行政法人都市再生機構九州支社(UR都市機構)との協力関係を確認する基本協定を締結しました。

県と締結したのは、「熊本地震による災害公営住宅整備に係る技術支援等に関する協定」。町が行う災害公営住宅の整備に関して、事業者の選定、設計および工事内容の確認などについて、県が技術支援などを行うものです。

県土木部建築住宅局の清水輝親局長は、「安心と温かさ、ふれあいのある熊本らしい災害公営住宅の整備を推進したい。被災者の痛みを最小化し、地域経済の振興にも寄与したい」と話しました。

UR都市機構と締結したのは、「平成28年熊本地震における災害公営住宅の整備に係る基本協定」。益城町の復興の加速化を図るため、同機構が過去の震災などでの復興まちづくりの経験を生かし、益城町における災害公営住宅の円滑な整備の推進に協力するものです。

同機構の西周健一郎九州支社長は、「益城町には、熊本地震発生時から職員を派遣し、仮設住宅などで支援をしてきた。東日本大震災での復興支援の経験などを生かして、一日でも早く、スピード感をもって事業を進めたい」と話しました。



3連覇を果たした益城中吹奏楽部の皆さん

みんなで勝ち取った栄冠

益城中吹奏楽部が、全国大会で3回目の優勝

9月23日、東京の昭和女子大学で全日本ブラスシンフォニーコンクールが開催され、益城中の吹奏楽部が優勝しました。これにより、益城中は同コンクールで3連覇を果たしました。

部長の井上咲羽(3年)さんは、「今年は3連覇がかかっていたので、正直プレッシャーでした。でも、地域や保護者の皆さん、指導して下さっている先生方などたくさんの方々に支えていただき、優勝できました」と顔をほころばせ、話しました。

Best Smile
今月のベスト笑顔

